

## SCHEME | 食糧援助 (KR)

### 食糧援助とは…

食糧援助 (KR) は、食糧不足に直面している開発途上国に対し、米、小麦、トウモロコシなどの穀物の購入を目的として行う無償資金協力です。ガット (GATT) ケネディ・ラウンド (KR) 交渉の一環として成立した1967年の国際穀物協定を構成する食糧援助規約に基づき、1968年に開始されました。これにちなんでKRとよばれています。

## JICSの役割

JICSは2001年より、開発途上国政府との契約に基づき、調達の監理機関として、公正で迅速な食糧の調達に貢献するとともに、調達された食糧の配布状況や見返り資金の積み立て状況等をフォローする政府間協議 (コミッティ) の事務局業務を行っています。

### 見返り資金

開発途上国政府が、資金協力によって調達した資機材の価格の一定額を現地通貨にて積み立てる資金であり、日本政府と協議の上で自国の経済・経済開発に資する事業等に使用することができる。



清水港で船積みされるベナン向け援助米

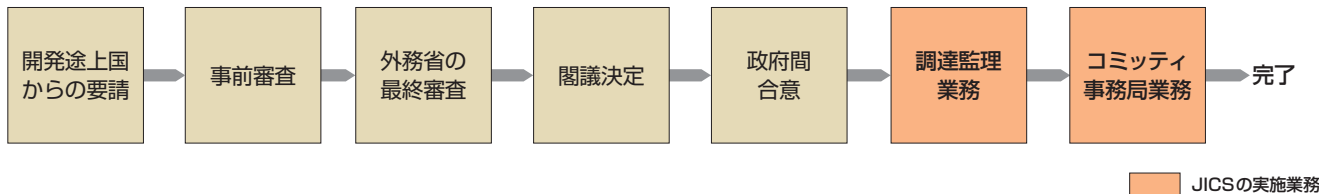


ハイチーボルトー・フランス港での援助米の荷下し



セネガル—両国政府関係者による援助米の引渡し式

### 業務の流れ



### 事業実績 (2003年度)

#### 地域別実績(件数)



### ケーススタディ CASE STUDY 食糧援助 (マダガスカル共和国) 2003年度

●事業概要：2004年2月および3月に発生した大規模なサイクロンにより、米生産に深刻な打撃を受け、米不足と価格高騰が発生したマダガスカルの食糧不足改善のため、政府備蓄米4,715トンを調達。

#### 食糧の安定供給にも貢献

調達された米は、首都アンタナナリボをはじめ、サイクロンの被害を受けた地域、遠隔地に配分されました。

現地での引渡し時には、ランジアリマナナ農業・畜産・漁業大臣から、「日本の食糧援助は、両国間の友愛・信頼関係の証拠であり、日本国民にマダガスカル国民の謝意を伝えてほしい」との言葉がありました。

また、この米は、マダガスカル政府米として市価よりも安価で販売され、その収益は同国の実施する2005-2006年農業キャンペーン向けの肥料の購入に充てられる計画であり、今後の同国における食糧の安定供給のために役立つことが期待されます。



現地の港に到着したばかりの援助米